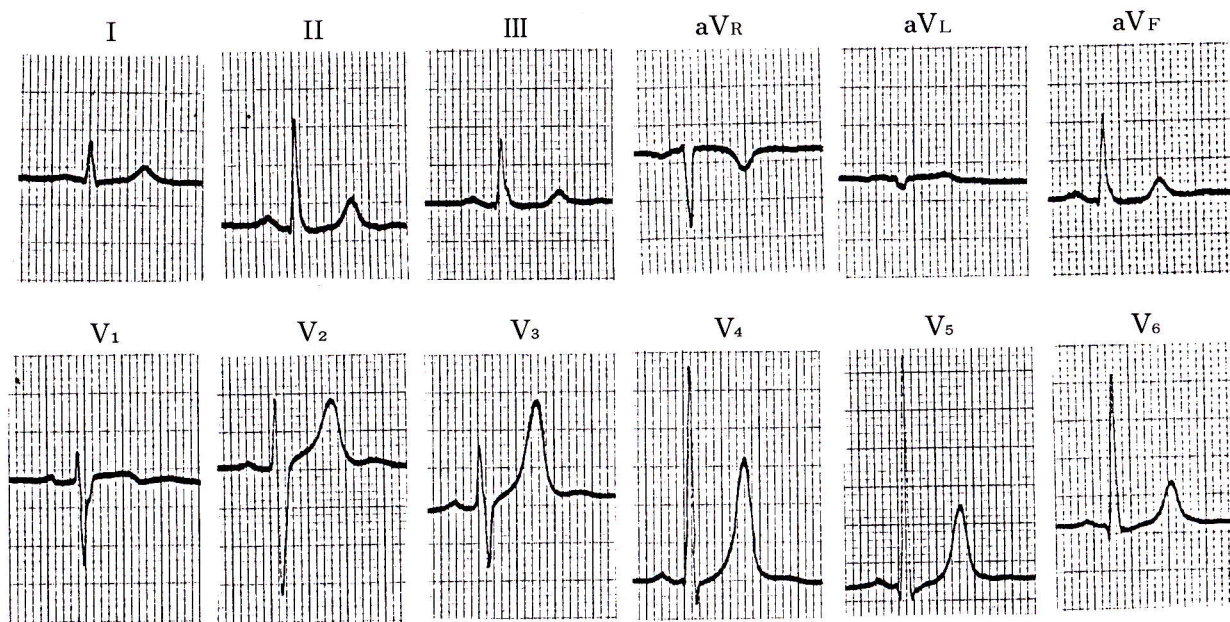


症例 62

●23歳 男

●蛋白尿精査のために来院。



1) V₂~V₅に高くて尖鋭なT波が認められるが、何を考えるか。

左室肥大

V₅のR波が30mm. V₅のR波とV₁のS波の和が40mm. 左室肥大基準を満足している. V₂~V₅に高くて尖鋭なT波を認めるが, 左右非対称であり, 基底部も広く, いわゆるテント状T波ではない.

normal variation であるが, 念のため血清K値をチェックしておくといよい(本例では4.5mEq/lであった).

MEMO

〈tall T波の臨床的意義〉

tall T波は, 平低T波~陰性T波に比べれば臨床的意義は少ない. tall T波が臨床的に問題になるのは高K血症(テント状T波), 心筋虚血(心筋梗塞新鮮期, 異型狭心症発作時)などであるが, T波の高さは個人差

が大きく, 以前の記録に比し, はっきりと高く, 尖鋭になっている場合を除いては, 問題にすべきではないが, 非常に高く尖鋭なT波をみる場合には, 念のため血清K値を測定しておくといよい.